

資料 7 望来小学校の将来の方向性に対する意見交換会について

日 時	平成 2 1 年 2 月 1 8 日 (水) 午後 6 時 ~
会 場	望来小学校
参 加 者	望来小学校の保護者、地域住民、教職員など 2 0 人 (市側: 8 人) 生涯学習部長、厚田支所部長 (生)管理課長、就学支援担当参事、地域教育推進室施策推進担当参事、 厚田生涯学習課長、就学支援担当主査、施策推進担当主査

【意見交換会の目的】

望来小学校は、平成 2 1 年 1 月時点で児童 1 6 人の複式学級による学校運営が行われており、将来的に児童数は減少するものと見込まれている。

望来小学校の将来の方向性を検討する際には、地域振興の観点も含めて検討する必要があることから、保護者や地域住民の方々との意見交換を繰り返しながら具体的な方向性を決めていくために開催した。

【意見交換会の内容】

- (1) 市からの説明
 - 厚田区内の小学校児童数、学級数の推計
 - 市の学校配置の考え方
- (2) 質疑応答、意見交換

【周知方法】

- (1) 望来小学校の保護者
 - 児童を通じておたよりを配布
- (2) 望来小学校区内の住民
 - 自治会を通じて回覧を依頼

- 厚田支所を通じ校区内の各自治会長あてに回覧の依頼をしたが、古潭地区を対象からもらしていた。
- 後日、地域教育推進室より古潭地区の自治会長へ文書を持参。
- これにより当該地区の周知が遅くなったもの。